

令和5年度
学校評価アンケート結果報告



佐倉市立弥富小学校

令和5年度 学校アンケート結果報告

佐倉市立弥富小学校B-②

評価 A:よくあてはまる B:ややあてはまる
C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

項目	A+B		A+B
	保護者(%)	教職員(%)	保護者(%)
	R4	R5	R5
②教職員は、学校行事や授業で、子どもの実態や弥富地区の特性を生かした学校づくりに努めている。	100	100	100
③教職員は、特別支援教育の充実を図るため、保護者や地域への啓発を行い、理解を深められるよう努めている。	86	88	100
④教職員は、保護者や地域の方に対して、自分から進んで交流しようと働きかけ、良好な人間関係を築くように努めている。	97	100	100
⑤教職員は、保護者、学校評議員、地域の方々等と連携・協力して、安全で開かれた学校づくりに努めている。	97	100	100
⑧教職員は、学校のホームページ、学校便り、学級だより、保護者会、授業参観、個別面談、教育相談等を通して、相互理解を深めるように努めている。	94	98	100
<p>【学校の改善策】 ③の特別支援の項目については、特別支援学級にとどまらず、各学年学級の一人一人のニーズを見極め、きめ細かな指導を進めるよう、学級支援補助教員の配置や特別支援教育支援員を必要に応じて補助に入れるなどの工夫をし、学習環境の向上を図ってきました。また、特別支援学級と通常学級の区別をすることなく、一人一人を大事にした学習環境の学びに取り組んでいます。今後も引き続き、一人一人の児童にとって、よりよい学習環境の構築に努めて参ります。 ③以外の項目は、昨年度と比較し、上回る評価となりました。今後も弥富小学校の特色ある教育活動を継続しつつ、教育課題を明確にし、課題解決に取り組む学校づくりに努めていきます。また、日々の教育活動の取組について、ホームページ・タイムライン・学校だより等で情報発信し、開かれた学校づくりにも努めていきます。</p>			
<p>【学校評価委員より】 ☆弥富小の少人数による指導で学力向上や生活態度の改善がデータとしてあるならば、地区外からの転校を迷っている方が決断する一助となるのではないかと。</p>			
<p>【すずかけプラン委員】 ☆学区外から通学する保護者に弥富小に来てよかった点を、小規模特認校公開を等で学区外から見学に来ている方々に向け話す場設けていくとよいのではないだろうか。 ○弥富小にしかできない特色ある授業、体験は、本当に素晴らしい。</p>			
<p>【学校関係者評価委員からの意見】 ☆地域にもいろいろな団体があるので、どんどん活用して欲しい。 ○コロナ禍で中止となっていた地域ぐるみ大運動会も再開していただき大変有り難く思いました。 ○弥富小学校は地域性も強いので大変な部分も多いと思いますが、とても丁寧に保護者や地域の方々との関係を築いていただいていると思います。本当に有り難うございます。 ○各項目とも高い評価を得ていることから、学校の運営方針や方法が保護者から信頼されていることが伺える。 ○③以外の項目に対する学校の改善策が素晴らしいと思うので、今後も引き続き、その実践に努めて頂きたい。 ○コロナの影響で地域との関わりが希薄になっていたが、どんなに小さなことでも地域では学校と関わることをとても意味あるものと考え応援したいと考えている。 ○一般的な保護者は「児童が少ない学校は良くない学校」という考えを持っている人が少なくないのではないかとと思うが、弥富小に在籍するれば、その考えが間違っていると実感すると思う。 ○塾等でも個別指導が、重視されているように、学校でも児童が少ないことが、ぶらすであるかと ●地区競技に関して学校におんぶに抱っこになってしまったので大変申し訳なく思っています。 PTAと地区が役割を分担して地区競技の企画運営をするなどの体制を整える必要があると思いました。 ●②については、個別最適な学びの場として、保護者の期待に更に応えるように学校の改善策を推進して頂きたい。 ●保護者の求めるもの。または、学校の求めるものをはっきりと提示して頂けると活動しやすい。 ●特別支援教育に関する問いのスコアが少し低いことについては、特別な支援を必要とされていない児童をお持ちのご家庭にとっては、アンケートに答えるのが難しいというのが実情かと思いました。その状況を反映した数字だと思いたすので悲観することはないような気がしました。 ●③については、日々のきめ細かな取り組みを児童、保護者が、一層理解するように情報発信をしていくことが大切だと思いたす。</p>			

学校運営

⑥教職員は、少人数の実態を生かし、一人一人に応じたきめ細かな指導を進めるように努めている。	97	96	100
⑦教職員は、基礎的・基本的な学習の内容を確実に身に付けるように努めている。また、児童が家庭学習(宿題等)において、1日に学年×10分くらいで行える適度な課題を設定し、児童の学力向上を図るよう努めている。	89	98	100
⑧お子さんは、家庭学習を毎日何分くらい取り組んでいますか。(分)※兄弟関係がある場合は、平均でお答えください。	/	平均 30分～ 50分	/
⑨教職員は、児童の学ぶ意欲を高めていくように努めている。	97	98	100
⑩教職員は、話す、聞く、書く、読む活動や読書活動の充実に努めている。	100	100	100
⑪お子さんは、家庭で1ヶ月におよそ何冊ぐらいの本を読みますか。(冊)※兄弟姉妹がいる場合は、平均でご記載ください。	/	/	/
備考⑧長時間(1時間) 短時間(0時間) 平均30分～50分 ⑪最高36冊 最低(0冊) 平均3～5冊	/	/	/
【学校の改善策】 ⑦の項目については、昨年の学校評価を踏まえ、個々にあった内容や量を調整するなどして基礎・基本が確実に身に付くよう取り組んで参りました。今後も本校で取り組んでいる年3回の家庭学習強化週間や日々の課題内容の充実を図るよう努めて参ります。 その他の学習指導についての項目では、昨年度とほぼ同様の評価でした。今後も、算数科におけるT.T授業の充実やICT機器を取り入れた授業の充実を図っていきます。 ⑪の項目については、今後も図書館司書や図書担当を中心に、読書活動の充実に努めるとともに、読書が好きな児童が増えるように努めていきます。			
【学校評価委員より】 ●公開の時のように、普段から児童同士が関わり合いながら学習していけるとよい。 【学校関係者評価委員からの意見】 ☆「わかる喜び」「できる喜び」を沢山味わわせて欲しい。 ☆子ども達の気づきを大切に学習を期待している。 ☆漢検・英検・数検等にもチャレンジさせていくとよいのではないかと。 ※競い合う場が少人数だからこそ必要であると思う。 ☆担任以外の先生や外部人材など様々な人から学ぶ場が多くあるとよいと思われる。 (体験学習等を含) ☆⑪については、今、不読率が一般的に課題となっています。小学校のうちに読書の習慣が身に付くように、個に応じた指導にも必要に応じて取り組まれると良いと思います。 ○⑦については、学校の取り組みが評価に繋がったのだと思います。 ○算数の授業を授業参観して、昔のような1つの正解に導いていく授業から、自分の考え方や友達の考え方を発表し合い、いろんな見方、考え方に気づくことで理解を深めようとしているのだなと感心しました。とても素晴らしい授業だと思いました。 ○弥富小学校の唯一の特徴は、少人数教育ができるところにあり、個々の学習の細かいところまで見てあげられることは、児童にとってとても励みになり、意欲に繋がっていると考えます。 ○参観時の3年生の課題は、少し難しいように思ったが、お互いに友達の意見を最後まで聞き、内容を理解しようとする姿が見られとてもよかった。 ○少人数の実態を生かし、子ども一人一人の持てる力を最大限に引き出す努力をしている。 ●読む本の冊数が多いからと言ってよい傾向と捉えるのは早計ではないだろうか。年相応の本を読んでいるかが問題であり、学年が上がれば、読む本も厚みがあり、1冊読むにも時間がかかることを考えると、冊数は減るのではないだろうか。冊数を目的とするのは、「本を読む習慣づくり」の初期段階といえるのではないだろうか。			

学習指導

心の教育	①お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている。	89	92	100
	⑫教職員は、道徳の授業を充実させ、自分や友達の大切さを認める教育に努めている。	97	98	100
	⑬教職員は、子どもが、様々な教育活動を通して、集団の一員としての自覚や、自主的な態度が育つように努めている。	100	100	100
	⑭教職員は、子ども理解や、不安や悩みの解消といじめの根絶に努めている。	97	96	93
	⑲教職員は、子どもの人権を尊重しつつ、集団生活のルールやマナーが身に付くよう努めている。	100	96	100
	【学校の改善策】 ①の項目について、少しですが昨年度を上回りました。今後も一人一人の個に応じた対応に努めるとともに、わかる授業に取り組むと共に、困ったときに安心して相談できる、環境づくりに努めて参ります。 ⑭の項目は、昨年度より下回りました。このことについては1%ではありますが、学校として深く受け止めています。今年度も月1回のスクールカウンセラーによる、全校児童の個人面談を実施すると共に、個の児童の希望に添って、複数回面談を入れるなど、一人一人の児童が安心して話せる場の提供や教育相談等の充実を努めて参りましたが、より一層の児童理解に努める参ります。また、いじめアンケートや学校生活アンケート、教育相談等を引き続き実施し、子どもの変容に気付き、対応すると共に、不安や悩みを早期に発見し、解消できるように努めていきます。 ⑲の項目については、今後も保護者の方の協力を仰ぎながら、引き続きルールやマナーについて子どもとよく話し合い、守ることの意義をしっかりと理解できるよう取り組んでいきます。そして、学年を超えた交流活動や教育活動を通して、集団の一員としての自覚や相手を思いやる心を育て、弥富っ子の3つの愛の実践に取り組んでいきます。			
	【学校関係者評価委員からの意見】 ☆子どもが感じる楽しさは、一人一人異なると思われるが、どの子にも対応した指導を引き続きお願いしたい。 ○少ない人数と言えども、いろいろな家庭、保護者、親子関係があると思うので、その都度、対応は様々であると考えますが、その中で、教職員の方が適切な対応をされていることは、素晴らしいと思います。 ○①の評価が高いことが不登校の児童が少ない要因であると思われる。 ○意識の持ち方だと思いますが、「学校は行かなければいけない」「学校へ行くのが当たり前」と言った考えがなくなってきたことは、よいことだと考えます。 ○「本年度、不登校がなくなった」とのお話はとても素晴らしいと思いました。すべての子供たちにとって、学校の中に居場所があるという証だと思いました。 ○この項目については、全体的に良好な数値だと思います。さらに、一人一人に応じて最善を尽くすことが大切であると思います。 ●「学校へ行くこんなことができる」「学校でこれができるからいい」等の気持ちになれるよう支援して頂きたい。 ●⑲については、集団の中の一人としての在り方や集団生活におけるルールやマナーを遵守することの大切さをしっかり考えさせていくことが必要に思う。 ●いじめの根絶を実現するのは、難しいのではないだろうか。「いじめの根絶」が実現したならば、教育の現場では、達成感や満足感を得ることができるのだろうか、少し期間が経てば、再びいじめの芽は、出てくるものではないだろうか。注意を怠らないよう継続して見守っていくことが大切。			

健康体力・安全	⑮教職員は、体育の時間を充実させ、児童が休み時間も外遊びをするように努めている。	91	94	100
	⑯教職員は、児童が健康で安全な生活ができるように、また基本的な生活習慣や危険を回避する力を身に付けるように努めている。	97	100	100
	⑰教職員は給食指導等を通して、望ましい食習慣を身に付けるように努めている。	94	98	100
	<p>【学校の改善策】 全項目を通して、評価が上がりました。新型コロナウイルス感染症も落ち着き、地域運動会を始め、様々な活動が制限なく取り組めるようになった結果と受け止めております。また、運動に関しましては、現代の自然環境などを十分に踏まえ、健康管理と安全を第一とし、子どもの成長期に育むべき体力や健康維持に努めて参ります。また、望ましい生活習慣について、「ほげんだより」等で発信し、家庭と連携して児童に指導していきます。また、児童に危険予知能力を身に付けられるよう、定期的な避難訓練等を通して「自分の身は自分で守る」意識の醸成と避難の仕方を継続指導していきます。</p> <p>⑰の項目について、「楽しい給食」の推進として、バイキング給食や対面給食等のご意見を頂いております。その点も踏まえて、今後検討を重ねて参ります。また、今後も引き続き地域の食材を生かした献立や本から飛び出すごちそう献立等、食への興味関心が高まる工夫をしたり、給食時に栄養士が各学級を回り当日の献立にまつわる話をしたりして、食育を推進して参ります。また、6年生が考えた献立の実施や低学年の食材の皮むき等、実感をともなった給食を提供し、食育に興味・感心もてる環境づくりに努めていきます。さらに、アレルギー対応等、児童の実態に応じた対応も積極的に取り組んでいきます。</p>			
<p>【学校評価委員より】 ○運動会が半日開催になったことは大変良かった。 ○給食の食べ残しが、ほとんどないと伺ったが、とても良いことだと考える。 ○新型コロナ感染症により、地域運動会のノウハウが途切れてしまったような状況でしたが、概ね上手くいったのではないかと。 ☆細かい部分の反省を次回につなげていければよいと考える。</p> <p>【すずかけプラン委員】 ○コロナ禍で制限されていた様々な行事が復活して、とても嬉しく思っている。</p> <p>【学校関係者評価委員からの意見】 ☆安全指導では、学校の改善策にあるように、子ども自身が危険予知能力を身に付けられるようにすることが大切と考える。 ☆訓練を通して、危険回避能力も高めて行ければよいと考える。</p> <p>○各項目とも保護者の評価が向上しており、学校の取り組みに対する信頼が高まっている。 ○大雨の予報や台風、雪などの対応は、とても早めの連絡で安心である。 ○地域ぐるみ運動会が4年ぶりに行われましたが、地区でも高齢化等が進んでおり、選手エントリーが難しい地区や保護者が少ない所もあるため、半日開催はよかったと思う。 ※楽しみにしている人も多いのも実情としてあります。</p> <p>●ゲームやYouTube等で遅くまで起きていて、朝、起きられないと言う子ども達へ睡眠時間と成長(健康)の関わりなど、指導して頂けるとよい。 ●登下校時の安全については、地域、学校、市役所等と連絡を取り合い引き続き進めていきたい。 ●新型コロナ感染症が落ち着いたとの認識は、如何なものだろうか。予防を意識した生活になっていますが、ワクチンや薬で完治するようになったわけではないことを考えると、危機感を持ち続けなければならないと思う。よって、「新型コロナが落ち着いた。」という認識を持つことは、事実を曲げてしまうことにつながらないかと危惧するところです。 ●⑮は、もしかすると「体育の時間を充実させ」の意味が、保護者にはわかりにくいかも知れません。具体的に何が充実したのか、情報発信をしていくと良いかも知れません。</p>				

⑳教職員は、子どもと向き合う時間を確保するように努めている。

97 96 100

【学校の改善策】

⑳の項目について、今後も教職員が子どもたちと向き合う時間を確保し、子どもたちが安心・安全に生活できるように努めていきます。

※C、Dと評価された理由があれば、具体的にお書きください。また、子どもの学校生活をよりよくするためのご意見がありましたら、併せて記入をお願いします。

○先生方が無理なく教育に情熱を注ぐことの出来る環境であって欲しいです。

●授業参観で道徳や体育を見ることはできますが、給食に関しては全く見る機会もなく、(給食だよりはいただいています)、16番の危険を回避するような避難訓練なども見る機会がないので、本当はアンケートの内容が保護者には分かりかねるのでは?と思います。

→給食メニューや避難訓練の様子をホームページやタイムラインなどに掲載していますので参考にして頂けますと幸いです。また、給食については、来年度、給食試食会ができないか検討しているところです。

●長期休みの時、本を沢山借りてきても読まないで返すことが多いので、その中から一冊学校で紹介するなどの工夫をしたらどうか。

●本を読むことが少なくなっているので、少しでも本を読む習慣が身に付くような取り組みを考えて欲しい。

→図書委員児童の活動が充実するよう支援する中で、全校児童にむけて図書祭りや図書クイズなどを開催したり、児童が紹介したい本をポスターにして掲載したりして、読書活動の充実を図っています。今後も学校図書館司書や図書担当を中心に子ども達が本に親しめる環境づくりに努めて参ります。

●コロナ禍で中止していた林間学習や給食バイキングを再開してもらえると子ども達がそこからまた色々な経験を積めると思うのでお願いします。

●バイキング給食は、もうやらないのでしょうか。あると子ども達が喜びます。

→4、5年生の宿泊学習については、教科時数の確保とバス料金の高騰から今の段階では、再開は難しい状況です。

→バイキング給食については、食材の高騰によりバイキング給食を行う予算を捻出することが難し状況を踏まえ、セレクト給食やラッキーリクエスト献立など、子ども達が喜ぶ工夫を検討しているところです。

●給食が今は対面になりましたが、これからも感染症などまたあると思います。その度にルールが増えるのはどうなのかなと思います。

●感染症等によるルール増加によって、不登校、鬱、自殺のこどもは増えていると言われている中、感染対策が優先なのか、食、友達との交流の楽しさが優先なのか、学校側だけの意見ではなく、こどもや親へアンケートをとって多数決で決めてほしいと思います。

→児童が健康に過ごせるよう、基本的な習慣「手洗い・うがい・換気」は今まで通り重視して行って参りますが、新型コロナウイルス感染症の5類への移行やクラス児童が少人数であることなどを踏まえ、今後は、児童が楽しく食事を取ることができるようルールの見直しを児童とともに行って参ります。

●車通学の子は運動量が少ないので、休み時間等に積極的に外に出るようにお声かけしていただけるとありがたいです。

→新型コロナウイルス感染症により、できなかった遊びや運動を今年度より再開し始めました。今年は、ドッジボール対抗戦や縄跳び週間等に取り組みました。また、個の自由を尊重しつつ、晴れた日に、外で体を動かしたり、よい空気を体に取り込んだりできるよう声かけをしています。

●長期休暇の宿題は、より良い成長の為に必要な無いものが多いと感じました。

→ご意見ありがとうございます。真摯に受け止め、長期休業中の宿題の精選及び投げかけについて検討して参ります。

●子ども達の考えや意見を吸い上げられるような仕組み作りがあればと思います。

(アンケートなど)子ども達が【自分でやりたい】という気持ちを尊重し、その責任について、教えてあげることが大切かと思えます。

●勉強以外の大切なことをもっと、伝えてあげられればと思います。

→ご意見ありがとうございます。学校でも児童の「興味・関心」を引き出し、深めることはとても大切だと考えております。教育課程において、学習内容のやり残しが無いよう進めた上で、【自分でやりたい】という思いを受け止め、取り組めるよう努めて参ります。また、その際は、責任をもって最後まで取り組むことの大切さも伝えて参ります。

●それぞれの子どもの得意を伸ばす学習の指導をして欲しい

→子どものよいところ、得意なところを見出し、褒め、伸ばせるよう、一人一人の児童に応じた指導をこれからも推進して参ります。

●子どもの自主性を重んじるだけでなく、学校側から特化した勉強をさせてもいいのではないのか。それが、弥富小の強みになっていくと、就学児も増えるのではないだろうか

→地域の皆様の協力を得ながら、弥富でしかできない地域学習や体験の充実を図るとともに、ホームページや弥富小公開等で地域外から通っている保護者の意見を掲載するなど佐倉市全体への周知に努めて参ります。

●一部の児童への指導に時間が割かれることが多々あり、授業の時間が割かれることにストレスを感じるようなことがあります。

→指導内容において適時、適応が基本ではありますが、その指導の受け取り方は、十人いれば十通りであることを指導側もしっかり受け止めると共に、当該児童以外の児童への心的配慮を行って行くよう、教職員の意識向上を図って参ります。

【学校評価委員より】

☆教員の欠員がないと言う事も現在の教員不足という社会の中では、大きなアピールポイントだと思う

【すずかけプラン委員】

○地域・保護者としても学校行事や体験活動に協力していきたい。

【学校関係者評価委員からの意見】

☆学校で2学年合同でもよいが、和田小や山王小と合同で行うことも考えられるのもよいのではないだろうか。

☆学校の特色を何で打ち出していくかについて、地域学習もよいと思うが、ATを積極的に取り入れた授業を展開してもよいのではないか。

例)「弥富小に行けば、ICTを活用した学習ができる。」

これを目的に来る児童がいるかもしれない。

☆コロナ後のPTA活動再開にあたり、先生と親との間で話し合いをもち、PTAの本質を考え直し、必要なものとそうでないものを精査し、新しいPTAの形を模索するような場をもつことも必要なのではないかと考えます。

☆労力奉仕などのPTA活動の日程と授業参観日を同じ日に設定することは難しいでしょうか。

☆保護者の意見、考えも多様だなと感じました。相互の理解を進める中で学校は、「何をしようとし、何ができるのか。」また、保護者は、「何ができるのか。」そして、地域は、「何ができるのか。」双方向を大切にしていくことが、児童のより良い育成に繋がると考えます。

●少人数のため、学校行事で校外に出る際の費用がかさむ問題がある。